

vol. 5

2021年4月13日
発行

第31回東北作業療法学会 ニュースレター

共育 ～トモニマナビ、トモニソダツ～

いよいよプログラム集が東北の皆さまのお手元に届きます!

第31回東北作業療法学会はコロナ禍のなか、開催方法を日々協議検討して参りました。感染状況が一進一退し、ワクチン接種が予想よりも遅れている中、安全安心で楽しめる内容の学会とするため、オンライン形式のみの開催方法に切り替えて、準備を進めています。東北各県士会に入会している皆さまには4月下旬を目途に本学会の内容をダイジェストで掲載したプログラム集をお届けする予定になっています。

会期は7月1日～25日までで演者との質疑応答もできます!

開催形式の変更に伴って、HP上からアクセスして各講師の先生および各演者の発表内容を閲覧できる期間が延長になりました。また、web上で演者に対して質疑ができる仕組みも整備する予定となっています。興味深い取り組みについて「どうやってるんだろう?」など、ちょっとした疑問について直接やりとりできる機会が持てると思われます。うまく活用して頂くことで、より充実した25日間の内容を楽しめるかと思えます!今回皆さまの手元に送付されるプログラム集については開催概要とともに、各講師の先生方の講演内容の掲載があります。

学会テーマは”共育～トモニマナビ、トモニソダツ～”です。各講師の先生方がこのテーマについてどのような形でお話くださるか、その想いについても触れられていますので、こちらもチェックしてみてください



岩手県盛岡市はこんな街～part①～

東京での緊急事態宣言が解除されたとはいえ、現在のコロナ禍で県外への移動が制限されている方も多いと思います。

今回のニュースレターでは開催地であった岩手県盛岡市について、環境整備(まちづくり)や手作業(伝統工芸品)といった視点から、みどころ&食べどころをシリーズでほんのすこしだけ紹介いたします。

～橋からの岩手山～

盛岡のまちづくりという観点では「橋」が思い浮かびます。多くの橋から岩手山(標高2038m)を望むことができるよう、ある程度の意図をもって建設されていると聞きます。中でも開運橋は別名「二度泣き橋」ともいわれ、盛岡に転勤となった方が「遠くまで来てしまった」と泣きながら渡り、住んでみると盛岡の人の温かさに触れ、次の転勤の際には「離れたくない」と泣きながら渡るのがこの橋といわれています。



SNSでは最新情報を配信中!!
是非ご覧ください
(^^)/~~

Instagram



twitter



facebook



開催期間:2021年7月1日(木)～25日(日)

学会形式:オンライン学会

URL: http://wateot.or.jp/31st_tots/index.html



第31回東北作業療法学会

検索



一般社団法人
岩手県作業療法士会



東北作業療法学会